

新潟県がん対策推進計画（第４次）の策定素案に対する意見への対応

資料１－２

意見の反映状況 Ⅰ：反映するもの Ⅱ：一部反映するもの Ⅲ：既に記述済みのもの
Ⅳ：今後の検討課題とするもの Ⅴ：その他記述の変更を要しないもの

No.	意見種別	該当部分	意見	反映状況	対応（案）
1	パブリックコメント	P28	たばこの放射能が抜けています	Ⅴ	たばこには多くの発がん性物質が含まれていますが、本計画では個別の発がん性物質については言及していないため、放射性物質についても記載しておりません。
2	パブリックコメント	P30	1 がん対策推進計画において、肝炎（肝がん）に関する記述は「1 がん予防」の項目に限られているが、肝がん・肝硬変発症のおそれがある状態で療養を継続している患者も、まだ一定程度存在している。そうした患者の心のよりどころとして、医師や医療関係者からのサポートはもちろんだが、同じ不安や悩みを持つ患者同士、また患者を支えてくれる仲間にも恵まれることが大切である。そういった「様々な人たちとの出会い」があり、そこで勉強し、支えられ、気持ちの問題や心の悩みを分かち合える「友達づくり、仲間との出会いの場づくり」などの施策を、肝炎（肝がん）に限らず、がん患者全般の精神的な不安解消の観点から、「3 がんとの共生」「4 これらを支える基盤整備」の中に盛り込んでいただきたい。	Ⅰ	肝がんを含むがん患者全般の精神的な不安解消については、第5章の3（1）ア「相談支援体制の整備」において、がん患者や経験者によるピアサポートの推進に取り組んでいく旨を記載しておりますが、御意見も踏まえ、文言を「がん患者の不安や悩みを軽減するためには、 <u>悩みを分かち合える仲間づくりが必要であり、がんを経験した者ががん患者に対する相談支援に参加することが有益であることから（略）</u> 」に修正します。
3	パブリックコメント	P30	2 「肝炎医療コーディネーターの養成」は今後非常に重要となるものであり、特に患者の立場でのコーディネーターの育成が期待されることから、「4（4）人材育成の強化」の中に明記していただきたい。	Ⅱ	肝炎コーディネーターの育成については、第5章の1（1）③に記載しておりますが、御意見も踏まえ、文言を「 <u>検診機関や医療機関等の従事者、さらに患者側の視点から、関係者間の「橋渡し」を行う肝炎コーディネーターの育成を推進します。</u> 」に修正します。